

トルコ、国民投票勝利で憲法改正へ

～政治的不安定は後退するも、欧州との関係悪化や中銀の独立性などに不安～ 発表日：2017年4月17日(月)

第一生命経済研究所 経済調査部

担当 主席エコノミスト 西濱 徹(03-5221-4522)

(要旨)

- トルコでは16日に大統領の権限強化などを目指す憲法改正の是非を問う国民投票が行われ、賛成が過半数を獲得した。これにより議院内閣制から実権的大統領に移行し、名実ともにエルドアン大統領に権限が集中する。昨年7月のクーデター未遂事件後、エルドアン大統領は強権姿勢を一段と強めており、欧州諸国は警戒感を強めてきた。エルドアン大統領は死刑制度復活を示唆する発言を行っており、EU加盟交渉は頓挫が必至の様相である。大統領の権限強化に伴い、中銀の独立性は一段と危ぶまれることも懸念され、政治安定は短期的にリラ相場を支える可能性はあるが、中長期的には一段安となり易い情勢となろう。
- トルコでは16日、大統領の権限強化などを目指す憲法改正案の是非を問う国民投票が行われ、即日開票された。同国内の報道などでは「賛成」が過半数を上回った模様であり、この結果を受けて政府は「勝利宣言」を行った。その後、高等選挙委員会(YSK)も賛成票が過半を上回ったとの暫定結果を発表しており、エルドアン大統領が中心となって推し進めてきた長期政権化の道が開かれる。国民投票を巡っては、イスラム色の強化を求める地方部を中心とするAKPが集票の地盤としてきた地域で賛成票が大きく上回った一方、クルド系住民の多い同国南東部のほか、首都アンカラや最大都市イスタンブールなど大都市部では反対票が多かった模様である。さらに、YSKが投票開始後に公式なスタンプが押されていない票も有効にするなど急遽規則を変更したことから、早速野党陣営からは投票への不正行為を指摘する声や、国民投票自体に対する合法性を疑問視する声が出ている。ただし、現実的に選挙のやり直しなどが行われる可能性は極めて低いと見込まれる。トルコでは、これまで首相を中心とする議院内閣制が採られていたものの、今回の憲法改正により実権型大統領制に移行する。2014年に同国初の直接選挙による大統領選が行われてエルドアン氏が勝利した後、名目上は大統領をそれまで通り「儀礼的な存在」としつつ、実態的にはエルドアン大統領に政治的権限を集中させる動きが進められてきた。こうしたことから、今後は名実ともに「エルドアン体制」が強化される。また、トルコでは1923年の建国に際し、初代大統領であるケマル・アタチュルクが『世俗主義(政教分離)』を国是としており、その後もその方針が貫かれてきた。しかしながら、イスラム教色の強い公正発展党(AKP)政権の下、イスラム色を強力に打ち出すエルドアン大統領に権限が集中する方針が決まったことで、今後は宗教色の強い、強権的な政権運営が行われる可能性が高まっている。折しも昨年7月にクーデター未遂事件が発生した後は、エルドアン大統領が主導する形で軍人や司法関係者、警察官、地方自治体幹部などを中心に「反乱分子」の粛清を図るほか、野党政治家や反政府系メディア関係者なども多数拘束されるなど、強権姿勢を強める動きがみられた。欧州諸国はこうした動きを警戒しており、ドイツやオランダなどにおいては、開催が予定されていたトルコ政府によるトルコ系住民を対象とする政治集会(国民投票への賛成を呼び掛けるための集会)を禁止するなどの対応を行った(詳細は3月24日付レポート「[トルコリラの安定は「嵐の前の静けさ」か](#)」をご参照下さい)。これらの動きによって、EUとトルコの関係は急速に冷え込んでいるが、エルドアン大統領は国民投票の結果を受けて、死刑制度の復活をあらためて示唆する考えをみせており、トルコのEU加盟交渉が完全に暗礁に乗り上げることは必至の状況である。他方、トルコとEUの間では昨年、シリアなどから非正規

の形で欧州に流入した移民や難民を全員、一度トルコに送還することで合意がなされたが、関係悪化によって約束が反故にされるリスクも高まっており、そのことをきっかけにEU域内の不安定化が高まることも懸念される。なお、国民投票の結果を受けてエルドアン政権に対する信認が確認されたことは、短期的には政治的安定が意識され、政治不安に対する懸念が後退すると見込まれる。ただし、エルドアン大統領の権限が強化されることにより、今後は中銀の金融政策など様々な政策運営に対して大統領周辺からの「声」が強まることが懸念される。このことは、足下のインフレ率が10%を上回るなど、このところのリラ安圧力も追い風となる形でインフレが懸念される状況にも拘らず、中銀の独立性が毀損される形で金融引き締めに動けない状況が今後も続く可能性を高めよう。結果として、通貨リラ相場については先行きも一段の下値を探る展開となることが懸念されよう。

以 上

